

# 株式会社トヨタマップマスター 様

TOYOTA MAPMASTER INCORPORATED

OUTLINE

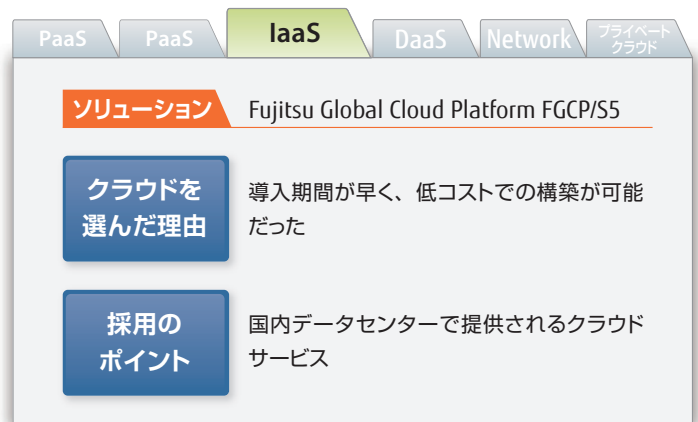
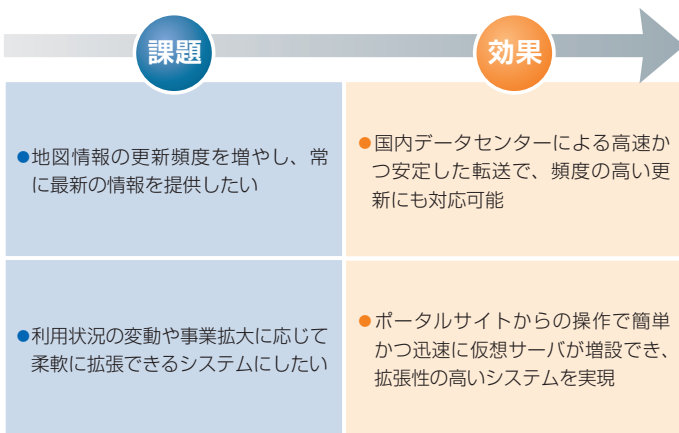
## 高速かつ信頼性の高い地図サービスを実現した IaaS 型クラウドサービス「FGCP/S5」

### USER'S VOICE

加藤 友明 氏 | 株式会社トヨタマップマスター  
開発部 コンテンツサービス室 グループ長



「重視したのは迅速な更新のため、国内のデータセンター上にあるクラウドサービスであること。導入や運用コスト、導入期間の短さでした。これらを満たすのが FGCP/S5 だったのです」



### 概要

トヨタグループの地図データベースを制作するトヨタマップマスター様は、全国約 50 万か所の交差点や高速道路開通時の現地調査など、地図制作に関わる情報収集を行っている。また、ネットワークを通じて最新地図情報を提供する「マップオンデマンド」(注1)において地図データベースの開発を担当。道路情報の収集でその仕組みを支える。2010 年 6 月、同社はサービス拡大に備え地図情報の ASP サービス基盤の、ハウジングからクラウドへの切り替えを検討。高速で安定した転送性能と事業拡大時の柔軟な拡張性を評価。IaaS の「Fujitsu Global Cloud Platform FGCP/S5 (以下、FGCP/S5)」の採用を決めた。

### ユーザープロフィール

#### 株式会社トヨタマップマスター

所在地：愛知県名古屋市中村区名駅南一丁目24番20号  
名古屋三井ビルディング新館11階

代表者：代表取締役社長 田尾 正光

設立：1998年7月28日

事業内容：ナビゲーションシステム用地図データ、関連地図データの企画、調査、制作、販売

従業員数：334名(2011年4月1日現在)

URL：http://www.mapmaster.co.jp/

### User Profile

(注1)「マップオンデマンド」は(株)トヨタ自動車とトヨタメディアサービス(株)が提供する「G-BOOK」のテレマティクスサービスです。

shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

## 関係者の方々



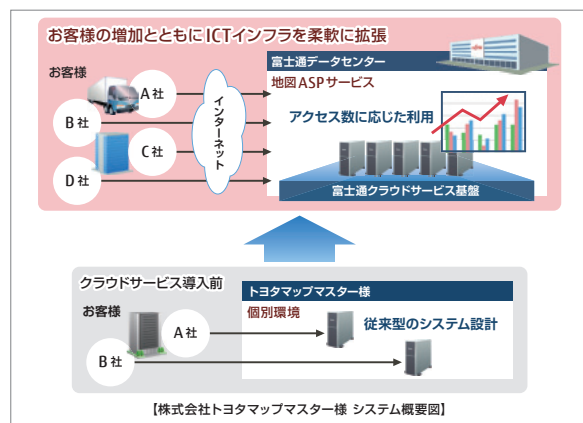
兼岩 俊幸氏  
開発部  
コンテンツサービス室  
室長



山崎 恵子氏  
開発部  
コンテンツサービス室  
グループ長

### 求められた拡張性、低コスト、短期導入

クラウドサービスへの切り替えを決めた経緯について、同社の開発部 コンテンツサービス室 グループ長の加藤友明氏は次のように語る。「新しい地図情報サービスでは、ユーザーの増加に柔軟に対応できる拡張性、機材にかかるコストの削減、短期間での導入という要件を満たしたシステムにしたいと考えていました。従来から利用してきた物理サーバのハウジングではこうした要件を満たすのが難しかったのです。そこで同社はクラウドサービスに着目。「当初は、クラウドサービスとは何かというところから調査を始めましたが、富士通が提供する無償トライアルの活用などを経てノウハウを蓄えたことにより、クラウドサービス上での新システム構築に自信を持つことができました」（加藤氏）。



そしてさまざまなクラウドサービスを比較検討した結果、同社は2010年9月、富士通のIaaS「FGCP/S5」の採用を決定。加藤氏はその理由をこう語る。「重視したのは迅速な更新のため、国内のデータセンター上にあるクラウドサービスであること。現在、地図の更新頻度は月1回程度ですが、今後さらに頻度を増やして地図を常に最新にしたいのです。また導入や運用コスト、導入期間の短さも重視。これらを満たすのがFGCP/S5 だったのです」。

### 構成変更やテストに柔軟かつ迅速に対応可能

2010年11月より稼働開始したFGCP/S5の効果について、同社の開発部 コンテンツサービス室 室長の兼岩俊幸氏はこう語る。「導入から2か月程度で稼働できた点にはたいへん満足しています。また、最大の導入効果と感じているのは、変更したいときにすぐに変更できる点です。当社では、地図データベース上のソフトウェアをすべて自社開発しているのですが、開発が完了してから性能向上のためにサーバ増設が必要になることがあります。これまでの物理サーバの場合、購入後の追加や変更が非常に困難でした。その点、FGCP/S5 はポータルサイト

からの簡単な操作で即座に仮想サーバを追加できるので、柔軟に対応できます。当初は、コスト削減がクラウドサービス選択の主な理由でしたが、それを補ってあまりある効果です」。

加藤氏はまた、テストにも効果があったと語る。「これまでは試したいことがあっても、テストサーバの用意に時間がかかり、すぐに対応ができませんでした。FGCP/S5 なら即座にテスト用の仮想サーバを作成し、テスト終了後はすぐに仮想サーバを消去できるので、テストが迅速に運びます。1～2時間程度試すだけなら、コスト的にもほとんど影響なく、安心して使うことができます」。

### APIを活用した運用監視ツールの作成を検討

当初、仮想サーバ5台程度でスタートした地図提供サービスは、20台超の仮想サーバが必要となるまでに拡大。同社の開発部 コンテンツサービス室 グループ長の山崎恵子氏は、「現在は新しいサービスの運用に時間をとられ、FGCP/S5 のAPI 活用はまだ至っていませんが、今後はAPIを利用した運用監視ツールなども作成していきたいと考えています」と期待を寄せる。

富士通は、お客様のご要望に応えられるよう、FGCP/S5 の機能向上になお一層努力していく。

製品の詳細はwebにてご覧ください。 <http://fenics.fujitsu.com/outsourcingservice/saas/plat/sop/>

#### お問い合わせ先

製品・サービスについてのお問い合わせ先

富士通コンタクトライン (総合窓口)

**0120-933-200** 受付時間 9:00～17:30  
(土・日・祝日・年末年始を除く)

富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター